

VRで消費者力アップ！ ～教材の魅力と実践事例～

「消費者力」育成・強化を目的とするVR動画等を活用した
体験型教材の導入・普及



令和7年3月18日
消費者庁新未来創造戦略本部

本日の内容

1. 体験型教材について

体験型教材

「鍛えよう、消費者力 気づく・断る・相談する」

2. モデルプロジェクトの実施内容について

- ・担い手向け教材活用セミナーの概要
- ・モデル講座実施事例12例の概要
- ・教材実践ガイドについて

【モデルプロジェクト等の概要】

VR動画等の教材を活用した講師養成講座やモデル講座を実施し、教材の導入・普及のための方策と課題を整理した実践ガイドを作成する

【教材】

「消費者力」育成・強化のため、VR動画等を活用した体験型新教材を開発（令和5年度）



問題意識・課題

消費者教育コーディネーターへのアンケート調査によると、担い手の発掘や教材の活用方法が課題

⇒

開発した教材を継続的・実践的に活用してもらうため、教材の効果的な活用方法を検証する必要がある

実施する取組

①担い手向け教材活用セミナー

徳島県、京都府、その他都道府県の3地域で消費者教育の担い手（消費生活相談員、消費者教育コーディネーター、学生ボランティア等）を対象に教材の活用方法を講義

②モデル講座

担い手が実施する講座等（出前講座、授業、体験ブース等）において本教材を活用したモデル講座を上記セミナーの開催地を中心に10回以上実施

講師（担い手）：若者、学生ボランティア等 5回、
その他担い手 5回
受講者：若年者向け（大学生・高校生） 5回
一般（保護者・事業者）、高齢者向け 5回

③教材のガイド作成

①、②での講師、受講者に対するアンケート調査の検証結果を踏まえ、本教材の導入・活用方法を整理した自治体向けガイドと担い手（特に学生・若者）向けガイドを作成。併せてセミナーやモデル講座を紹介するダイジェスト版動画を作成

成果イメージ・効果

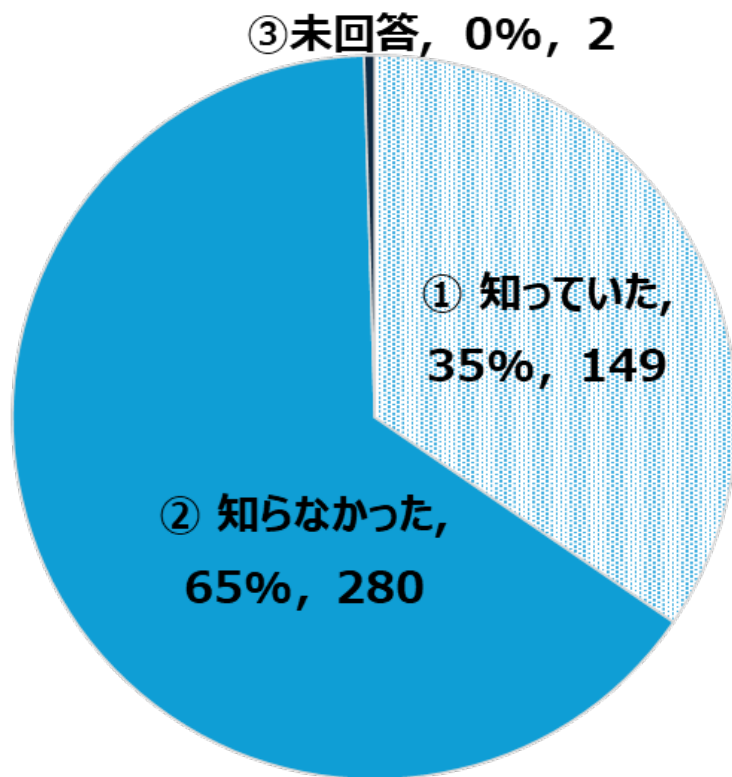
消費者教育の若い担い手の活動を支援

教材の全国的な導入・普及及び継続的、実践的な活用による各世代の消費者力の育成、強化

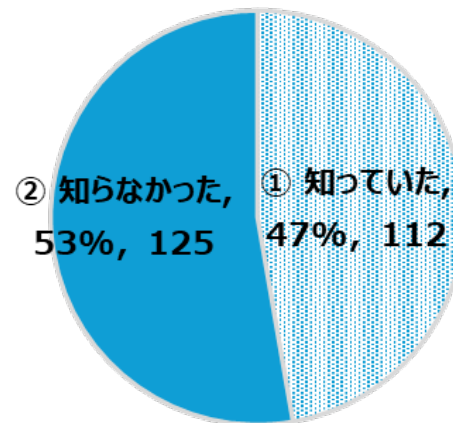
体験型教材「鍛えよう、消費者力 気づく・断る・相談する」の自治体の認知度

教材活用セミナーを実施した3つの地域（四国・近畿・中部地域）へ教材の普及・導入に関するアンケートを実施。642自治体のうち431自治体が回答、回答率67.1%。

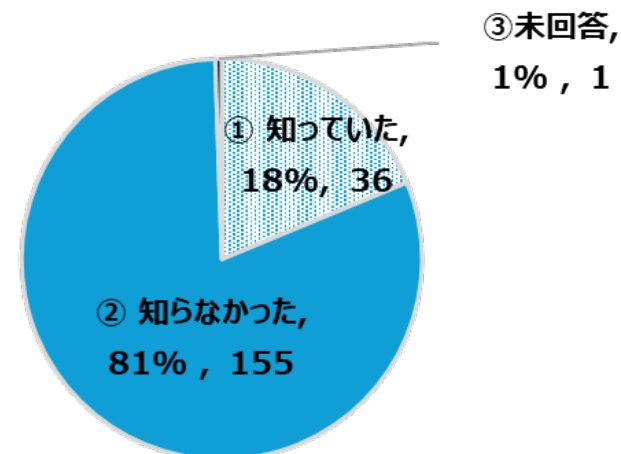
教材の認知度



講座の実施自治体と教材の認知度



講座の未実施自治体での教材の認知度



「消費者力」育成・強化ワーキングチーム取りまとめ（概要）

- 「靈感商法等の悪質商法への対策検討会」等において、消費者被害の未然防止のための消費者教育の取組強化の指摘
- 幅広い世代を対象に、被害防止に必要な実践的な消費者力を育成・強化し、消費者市民社会の構築を図ることを目的とする新たな教材を開発するため、今必要とされる「消費者力」とそれを身に付けるための効果的な教材の在り方や普及の方策等について整理。本取りまとめを踏まえ、令和5年度中に新たな教材を開発。

「消費者力」の整理

- 悪質商法による消費者被害の未然防止という観点から、以下のとおり整理。



効果的な教材・方策

- 教材の対象
 - ・中高生及び大学生を含む「若年層」、一般及び保護者の観点からの「社会人」、見守りの関係者を含む「高齢者」を対象。
- 教材の構成
 - ・総論として、「消費者力」の概要とその必要性を解説したものを準備し、各論として、具体的なトラブル事例を扱い、消費者が議論やシミュレーションしながら「消費者力」を身に付ける教材を用意。
 - ・**体験型教材**は、「断る力」、「相談する力」を念頭に、メタバースやVRの活用も検討しつつ、消費者がより**自分事化**できるよう、登場人物の立場に立ってシミュレートやロールプレイングできること、**自発的な参加による双方向のやり取り**ができることを意識。
 - ・「自学」や「自習」ができる教材の工夫、授業や講座向けに補助的な冊子教材やワークシート、講師用の解説書等も用意。
- 活用してもらう方策
 - ・対象世代ごとに、活用の場面を具体的に想定。普及のため、関係省庁や地方公共団体、関係団体、事業者等との連携が不可欠。

今後の課題

- 「消費者力」はより幅広い分野を含むものであり、消費者教育が目指す消費者市民社会の形成に向けた教材の工夫も非常に重要。「消費者力」、「消費者市民社会」に関しては、今後も継続的に議論・検討を行っていく必要。
- 教材についての議論・検討の成果を踏まえ、改善や補完し、関係省庁等と連携していくことが望まれる。

きた
体験型教材

鍛えよう、消費者力

消費者トラブルに遭わないために、
「気づく」「断る」「相談する」ポイントを学べる
体験型教材です！



VR動画で体験！



事例VR動画※

視聴時間
約7分



被害者目線で消費者トラブルを疑似体験
※VRゴーグル等がない場合でも、通常で視聴できます。

復習動画

視聴時間
約5分



シーンを選び、対処法を考える

解説動画

視聴時間
約7分



西田公昭立正大学心理学部教授が、
マインドコントロール等について解説

ver
1

動画教材

臨場感のあるVR動画で疑似体験しながら学ぶ動画教材。
1つのトラブル事例を、「事例VR動画」「復習動画」「解説動画」で構成。

VR動画
被害者目線で
勧誘手口を
疑似体験

01偽装サークル

体験型教材「鍛えよう、消費者力」

事例VR動画



楽しい学生生活だと思っていたのに…!

02暗号資産トラブル

体験型教材「鍛えよう、消費者力」

事例VR動画



将来への不安からもうけ話の誘ひに…!

03催眠商法

体験型教材「鍛えよう、消費者力」

事例VR動画



ご近所に誘われ、楽しい無料イベントに行ってみたら…!

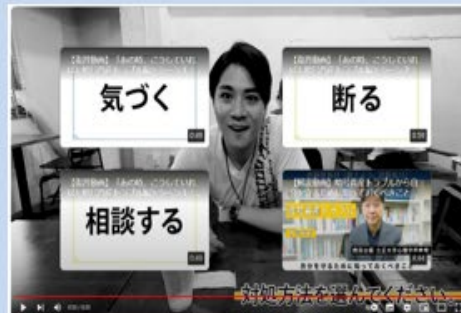
復習・解説
動画

振り返り・
被害事例の
解説と対策

振り返り動画



復習動画



解説動画



被害者
インタビュー
被害の実態を
知る

体験型教材「鍛えよう、消費者力」



REAL VOICE 被害者インタビュー「私たちにできること」
マルチ商法 私はこうして罠にはめられた

マルチ商法
医療ベンチャー企業の
マルチ商法の被害事例
被害者・被害者家族・
元社員のインタビュー

体験型教材「鍛えよう、消費者力」



REAL VOICE 被害者インタビュー「私たちにできること」
靈感商法 知らぬ間に支配された私の心

靈感商法
学生時代のカルト回
体の勧誘にあった靈感
商法の被害事例
被害者・支援者のイン
タビュー

04ゲーム課金



05美容医療



06定期購入



07訪問販売



各マンガ教材の事例に合わせた解説・対策・復習・実践スライド

解説

課金 | 解説 |

どうして課金したくなるの？

① イベントをクリアしたい・強くなりた

事例でも、ショウタは「最強の武器」が欲しくて課金アイテムを出してしまいました。「もっと強い武器が欲しい」「早くクリアしたい」という気持ちから課金を繰り返してしまう可能性があります。



② 周りも課金しているから

ゲーム仲間や友人の影響で「課金することが当たり前」と思い、課金のハードルを下げてしまう可能性があります。また、課金アイテムを手に入れることで周りに自慢できる、という側面もあります。

対策

美容医療 | 対策 | 美容医療サービスのトラブルに遭わないための対策は

不要な美容医療サービスのトラブルを避けるために

不要な美容医療サービスのトラブルを避けるために、問い合わせや申し込みをする際は次の点に注意し、慎重に確認をしましょう。

■ 広告規制のNG表現を使っていないか確認

前述の「美容医療クリニックの広告規制について」とおり、美容医療クリニックのWEBサイトでは広告規制があるため、虚偽広告や誇大広告などが禁止されています。

規制された広告表現を使用しているクリニックの場合は、よく注意して、「無料カウンセリング」なども安易に申し込みないようにしましょう。



復習・実践

点検方法 | 復習・実践 | 実践1 | 「無料でいいから」と屋根の点検を勧められた...

ロールプレイングで悪質業者に対処する練習をしてみよう。

実践1 | 「無料でいいから」と屋根の点検を勧められた...

登場人物の役になってセリフを読み、強引な勧誘を断る体験をしてみよう。

登場人物  Aさん  リフォーム業者

ー Aさんの自宅に、リフォーム業者が突然訪ねてきました。ー

突然すみません。近所で工事をされていてご挨拶に来たのですが、お宅の屋根瓦がずれているように見えます。点検してみませんか？

ありがたいけど、費用がかりませんか？



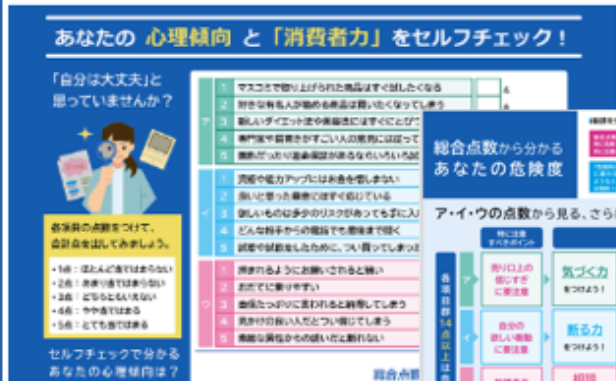
教材活用ガイドや授業・講座展開例(指導案)、ワークシートをご用意。
自身の心理傾向をつかむ診断セルフチェックも掲載。



▲教材活用ガイド



▲01～07教材別
ワークシート



▲診断セルフチェック

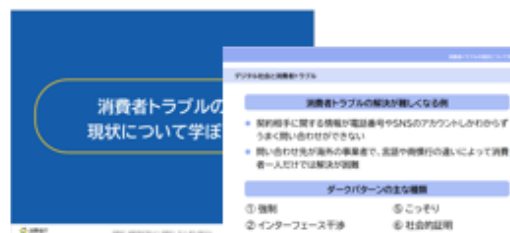


授業・講座展開例 偽装サークル

授業・講座展開例 ネットトラブル(課金)

時間	主な活動	指導上の留意点
導入 (7分)	1. 消費者トラブルと関係について ● 消費者トラブルの現状、消費者トラブルの被害と被害者の被害について知る。 ● 近年の消費者トラブルの被害を資料から読み取り、ワークシートに記入する。	● 社会の変化(デジタル化)に伴い、消費者トラブルの被害が増えている。 ● 資料を読み取る力を養うように取り組ませる。
展開1 (8分)	2. 診断セルフチェックに取り組む ● セルフチェックを行った結果に基づき、「消費者力」に関する自己診断を行う。	● 自分は大丈夫と思う意識と診断結果の差を「消費者力」の向上につなげる。

▲01～07教材別 授業・講座展開例 (50分)



◀消費者トラブル概況

(PPT・PDF)
最近の「消費者トラブル」の現状について、「消費者白書」に掲載されている情報などを紹介したスライド



◀相談先・周囲への働きかけ (PPT・PDF)

「消費者トラブル」に巻き込まれてしまった際の相談先や対処法、周囲の人が巻き込まれていると思った際の対応方法解決方法をまとめたスライド

体験型教材「鍛えよう、消費者力 気づく・断る・相談する」

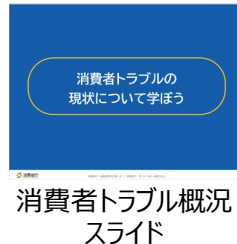
基本展開例

教材活用ガイドP49

1 導入 | 10分

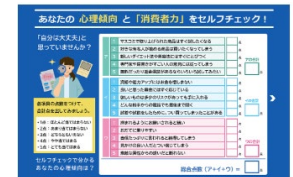
授業・講座の目的（ねらい）を確認します。

- ・「消費者トラブル」が増加している背景
- ・消費者トラブルの原因と社会の変化
- ・「消費者力」とは何か 等



2 ワーク | 5分～10分

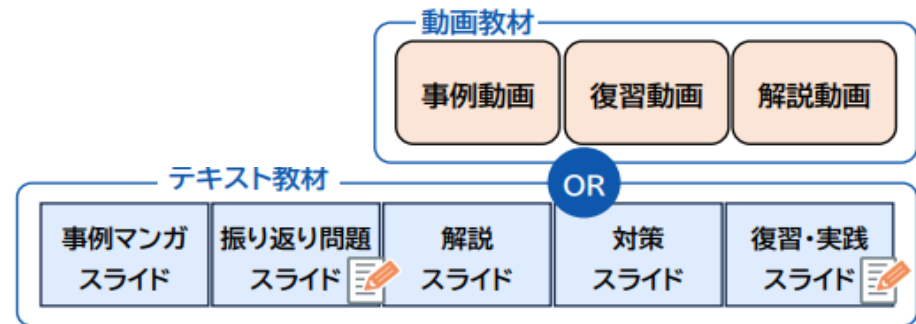
「診断セルフチェック」に取り組み「消費者力」に関する自己診断・自己分析を実施します。



診断セルフチェック

3 展開 | 20分～25分

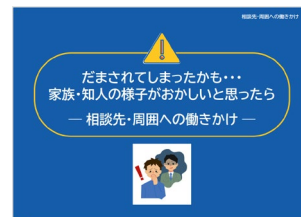
動画教材やテキスト教材、あるいは両方を活用しながら、「消費者トラブル」の事例を確認し、事例にそってトラブルの詳細や原因、対策等を学習します。



4 まとめ | 10分

学習のまとめに「相談先・周囲への働きかけ」を確認し、講義の内容を復習します。

自分を守ることから、周囲の人を守ることなどを習得し、「消費者力」を鍛えることの大切さを理解します。



相談先・周囲への働きかけスライド

※適宜「振り返り問題」「復習・実践」パートやワークシートを活用したワーク等も盛り込んでください。

※投影用スライドは、授業・講座の時間や計画（重点的に教えたいポイント）に応じて、適宜ページを取捨選択してご活用ください。

体験型教材「鍛えよう、消費者力 気づく・断る・相談する」

教材のダウンロードURL https://www.kportal.caa.go.jp/shohisharyoku/teaching_materials.html

主な対象	活用場面	動画教材	テキスト教材
		動画教材ページに掲載 ● 事例動画 ● 復習動画 ● 解説動画 ● 被害者インタビュー	テキスト教材ページに掲載 ● 事例マンガ ● 振り返り問題、解説（対策） ・復習 ● ロールプレイング

若年者向け授業・講座用資料

動画教材 CASE01：偽装サークル

動画URL
 事例動画 <https://www.youtube.com/watch?v=ASJgy0B-iM>
 復習動画 <https://youtu.be/Tjd7R0oxE0>
 解説動画 <https://youtu.be/AidQISuTeGI>

授業・講座展開例 [PDF版](#)

ワークシート例 [PDF版](#) [Word版](#)

[一括ダウンロード](#)

テキスト教材 CASE04：ネットトラブル(課金)

投影用スライド [PDF版](#) [PPT版](#)

授業・講座展開例 [PDF版](#)

ワークシート例 [PDF版](#) [Word版](#)

[一括ダウンロード](#)

高齢者向け講座用資料

動画教材 CASE03：催眠商法

動画URL
 事例動画 <https://www.youtube.com/watch?v=j20zo5Drgso>
 復習動画 <https://youtu.be/FnFvX4HAcEo>
 解説動画 <https://youtu.be/6UfSGHLEcu>

講座展開例 [PDF版](#)

ワークシート例 [PDF版](#) [Word版](#)

[一括ダウンロード](#)

テキスト教材 CASE07：訪問販売(点検商法)

投影用スライド [PDF版](#) [PPT版](#)

講座展開例 [PDF版](#)

ワークシート例 [PDF版](#) [Word版](#)

[一括ダウンロード](#)

以下のコンテンツも教材として組み合わせて活用できます。

消費者トラブル概況（消費者トラブルの現状について学ぼう）

投影用スライド [PDF版](#) [PPT版](#)

診断セルフチェック

投影用スライド [PDF版](#) [PPT版](#)

※各種教材は、PPT・Wordなど編集・加工可能な形式も御用意しています。

消費者庁
Consumer Affairs Agency, Government of Japan

ホーム

新着情報一覧 報道資料一覧 会議資料一覧

サイト内検索 検索 検索方法

テーマ別メニュー 消費者庁について お知らせ 政策 法令 刊行物

消費者庁ホーム > 利用規約

利用規約

平成31年4月1日更新

https://www.caa.go.jp/terms_of_use/

1.当ウェブサイトのコンテンツの利用について

当ウェブサイトで公開している情報(以下「コンテンツ」といいます。)は、どなたでも以下の1)~6)に従って、複製、公衆送信、翻訳・変形等の翻案等、自由に利用できます。商用利用も可能です。また、数値データ、簡単な表・グラフ等は著作権の対象ではありませんので、これらについては本利用ルールの適用はなく、自由に利用できます。

コンテンツ利用に当たっては、本利用ルールに同意したものとみなします。

1) 出典の記載について

ア) コンテンツを利用する際は出典を記載してください。出典の記載方法は以下のとおりです。

(出典記載例)

出典:消費者庁ウェブサイト(当該ページのURL)

出典:「〇〇ハンドブック」(消費者庁)(当該ページのURL)(〇年〇月〇日に利用) など

イ) コンテンツを編集・加工等して利用する場合は、上記出典とは別に、編集・加工等を行ったことを記載してください。また編集・加工した情報を、あたかも国(又は府省等)が作成したかのような態様で公表・利用することは禁止します。

(コンテンツを編集・加工等して利用する場合の記載例)

「〇〇調査」(消費者庁)(当該ページのURL)を加工して作成

「〇〇調査」(消費者庁)(当該ページのURL)をもとに〇〇株式会社作成 など

本日の内容

1. 体験型教材について

体験型教材

「鍛えよう、消費者力 気づく・断る・相談する」

2. モデルプロジェクトの実施内容について

- ・担い手向け教材活用セミナーの概要
- ・モデル講座実施事例12例の概要
- ・教材実践ガイドについて

担い手向け教材活用セミナーの概要

四国、近畿、中部の3地域で消費者教育の担い手（一般向け：消費生活相談員、消費者教育コーディネーター、消費者部局行政職員等、学生向け：若者・学生ボランティア等）を対象に教材の活用方法の講義を実施

セミナーの目的：

これから講座を実施する方への支援・スキルアップ、体験型教材の講座での導入の仕方と解説、VR動画体験会

開催地 対象	セミナー形式 参加者
京都府学生向けセミナー	対面形式 京都府学生コンシューマーボランティア 6名
徳島県一般向けセミナー	対面形式 四国ブロック消費生活相談員等 24名
京都府一般向けセミナー	対面形式 近畿ブロック消費生活相談員等 27名
愛知県一般向けセミナー	対面・オンライン形式 消費生活相談員等 対面8名 オンライン72回線
大阪府学生向けセミナー	対面形式 近畿地域ボランティア2名、その他3名

担い手向け教材活用セミナーの概要

徳島会場（一般向け）・大阪会場（学生向け）セミナー

講師：岡山県消費生活センター 消費者教育コーディネーター 矢吹 香月 氏

講義内容

○消費者教育の基本を理解

消費者教育の推進に関する基本的な方針、年代別の消費者教育の意義

○講座準備・依頼

講座の実施までのプランニングの仕方、講座の組み立て方、最新の高齢者・若年者に多い消費者トラブルの特徴の調べ方、消費者庁ウェブサイト教材の活用

○講座の実施

体験型教材を使った講座のタイムスケジュール（若者向け：「美容医療」「暗号資産」、高齢者向け：「ネットトラブル（定期購入）」「催眠商法」）、ワークの講座での活用、講師としての注意点 など

○講座終了後

反省点の整理、セルフチェック、PDCAのポイント

○消費者庁教材の紹介（学生向け）

消費者教育ポータルサイト、社会への扉、「鍛えよう消費者力」教材、デジタル社会の消費生活、中学生向け消費者教育プログラム、特別支援学校（高等部）向け消費者教育用教材

担い手向け教材活用セミナーの概要

京都会場（一般向け・学生向け）セミナー

講師：国立大学法人東海国立大学機構岐阜大学 副学長 大藪 千穂 氏

講義内容

○脳の意思決定システム

正常性バイアス、なぜ騙されるか、脳の意思決定における「熟慮システム」「自動システム」、これまでの消費者教育、悪徳商法を個人で防ぐ限界と法整備の必要性

○消費者被害の救済～法律を知る～

民法上の原則、契約自由の原則、民法・消費者契約法・特別法の関係、被害者救済の考え方、法律の限界 など

○「消費者力」育成・強化ワーキングチームの内容ととりまとめ

体験型教材の開発目的や目標、体験型教材の形式や活用の場

○教材紹介

「偽装サークル」「美容医療」「催眠商法」「訪問販売」の事例を授業・講座展開例で解説、消費者教育推進会議の実践例資料

担い手向け教材活用セミナーの概要

愛知会場（一般向け）セミナー

講師：梶山女学園大学 現代マネジメント学部現代マネジメント学科 教授 東 珠実 氏
講義内容

○消費者トラブルの現状と消費者の脆弱性

消費生活相談の現状、消費者の脆弱性・・・消費者の脆さ（危うさ）、弱さ、消費者の心理的特性（行動バイアス）と脆弱性

○「消費者力」を育む消費者教育一気づく・断る・相談するー

消費者教育推進法にみる消費者教育、「消費者力」育成・強化ワーキングチームの設置と「消費者力」の整理、「消費者力」を育む効果的な教材の検討

○体験型教材「鍛えよう、消費者力」の内容と特徴

特設サイト「鍛えよう、消費者力」トップページ、Webサイトの構成（掲載教材）、Webサイト掲載教材の内容と特徴

○体験型教材を活用した講座の展開

「催眠商法」のV R 動画教材を用いた授業例、「定期購入」のテキスト教材（マンガ教材）を用いた授業例、V R 動画教材やテキスト教材（マンガ教材）と他の教材の組み合わせによる効果的な講座

○「自分ごと」化の消費者教育

消費者教育における「自分ごと」とは、消費者問題の「自分ごと」化を促すV R 動画教材、リアルな教材による消費者教育の効果

モデル講座実施事例12例の概要

○担い手が実施する講座等(出前講座、授業、体験ブース等)において本教材を活用したモデル講座を教材活用セミナーの開催地を中心に実施

○実践事例として、講師の属性×受講者の年代・所属×使用教材の組合せを充実させ、様々なパターンを実証

講師（担い手）	受講者	事例数
若者・学生ボランティア	大学生、一般人	5件
一般（行政職員、消費生活相談員、消費者教育コーディネーター等）	大学生、高齢者、PTA（保護者）、福祉関係者、企業、特別支援学校生	7件

モデル講座実施事例12例の概要

講師：若者・大学生ボランティアの実施事例 5 件

受講者数	活用シーン	実施時間	体験型教材の使用教材	講座内容
大学生38名	大学講義	50分	事例動画「偽装サークル」 復習動画・解説動画	VR動画視聴 ワーク
大学生 4 名	大学講義	56分	事例動画「暗号資産」 「偽装サークル」 復習動画・解説動画	VR動画視聴 ワーク
大学生 6 名 一般人 3 名	ボランティア 研修	50分	事例動画「偽装サークル」 復習動画・解説動画 「消費者トラブル概況」 「相談先・周囲への働きかけ」スライド	VR動画視聴 ワーク
大学生 ボランティア 13名	ボランティア 研修	40分	事例動画「暗号資産」	VR体験会 ブースの運営
イベント参加 一般人33名	イベント	360分	事例動画「偽装サークル」 「暗号資産」 「催眠商法」	VR体験会 ブースの運営

モデル講座実施事例12例の概要

講師：一般（消費生活相談員等）の実施事例7件

講師	活用シーン	受講者数	実施時間	体験型教材の使用教材	講座内容
消費者教育コーディネーター	特別支援学校授業	特別支援学校生 13名	80分	事例動画「偽装サークル」 「暗号資産」 ワークシート	スライド講義 VR動画視聴
消費者教育コーディネーター	民生委員定例会（出前講座）	民生委員等 28名	40分	「訪問販売（点検商法）」 「ネットトラブル（定期購入）」 「相談先・周囲への働きかけ」 スライド 事例動画「催眠商法」	スライド講義 VR動画視聴
消費生活相談員	見守りネットワーク構成員勉強会	地域包括支援センター職員 25名	40分	事例動画「催眠商法」 「相談先・周囲への働きかけ」 スライド	スライド講義 VR動画視聴
消費生活相談員	出前講座	PTA（保護者） 26名	40分	「ネットトラブル（課金）」 スライド	スライド講義

モデル講座実施事例12例の概要

講師：一般（消費生活相談員等）の実施事例 7 件

講師	活用シーン	受講者数	実施時間	体験型教材の使用教材	講座内容
行政職員	大学講義	大学生 104名 一般人 9名	40分	診断セルフチェック 事例動画「暗号資産」 復習動画 ワークシート	スライド講義 VR動画視聴 ワーク 診断セルフチェック
消費者協会職員	企業団体研修 （出前講座）	企業人 10名	50分	「相談先・周囲への働きかけ」 スライド 事例動画「暗号資産」 ワークシート	スライド講義 VR動画視聴 ワーク
消費者協会職員	高齢者施設でのレクレーション （出前講座）	高齢者 9名	45分	「消費者トラブル概況」 「訪問販売（点検商法）」 「相談先・周囲への働きかけ」 スライド	スライド講義

モデル講座実施講師の感想

VR機材・VR動画について

○VR機材について

- ・VR機器の接続確認を確実に行う。
- ・講師 1 名での運用は困難。VR操作やトラブル対応への理解を持った人が必要である。
- ・VRは持ち運びが大変。車でないと持っていくことができない。もうすこし簡単にできると良い。
- ・VRはレクチャーとか勉強会があれば多分できると思う。しかし、うまく作動しない場合には複数人対応でなければ回らない。

○VR動画について

- ・動画は見せるだけでなく、消費者力に気づくポイントを考え一言添える。
- ・動画はトラブルに遭っているものと、気づいて断る様子の動画をセットで見せると効果的。断り難い性格の人には「このように断らなくてはいけないのだな」と理解し易い。
- ・VRは自分も体験したがインパクトがあった。主体的に、自分ごとのように捉えてくれたと思う。
- ・少しでも事例を理解しやすくするために動画教材は最適だと感じた。VRゴーグルの装着をしなければ、という固定概念にとらわれず、動画の活用を検討してほしい。

モデル講座実施講師の感想

教材全体について

- ・ワークシートを対象者に合わせアレンジできるようになっていて良かった。
- ・VRが使えない場合はマンガ教材も良い。その他にも色々な動画はあるのでそちらも使える。
- ・対象者や講義時間に応じて、補足資料を教材に組み合わせてカスタマイズすることで理解は深まると思われる。
- ・講座の開催の時間や参加する対象者によって、特にパワーポイントであればスライドの組み合わせや内容の加筆修正は自由にできるので、使い勝手がいいと思う。
- ・高齢者には、文字が多く情報量が多くてインパクトに欠ける。丁寧にいろいろな知識が盛り込まれているが、読んでもらえないのではないか。
- ・自分達啓発者にはこれだけの知識（情報）があるのは非常にありがたい。講師の手元資料として持っておき、少しカスタムしたものを持って帰ってもらうのが良いかもしれない。
- ・資料教材は、読み物として配るのか講座の中のパワーポイントとして使うのかによって違うが、講座用としては文字数が多過ぎて使い難い。マンガ教材についても講座で使うのであれば4コマ程度が良い。

モデル講座実施講師の感想

今後の教材の活用について

○自治体職員

- ・県主催の高齢者向け消費生活講座をVR教材を使い実施予定。漫画教材は低予算で使えるので、県内の相談員などに周知しつつ活用できる場面を探る。

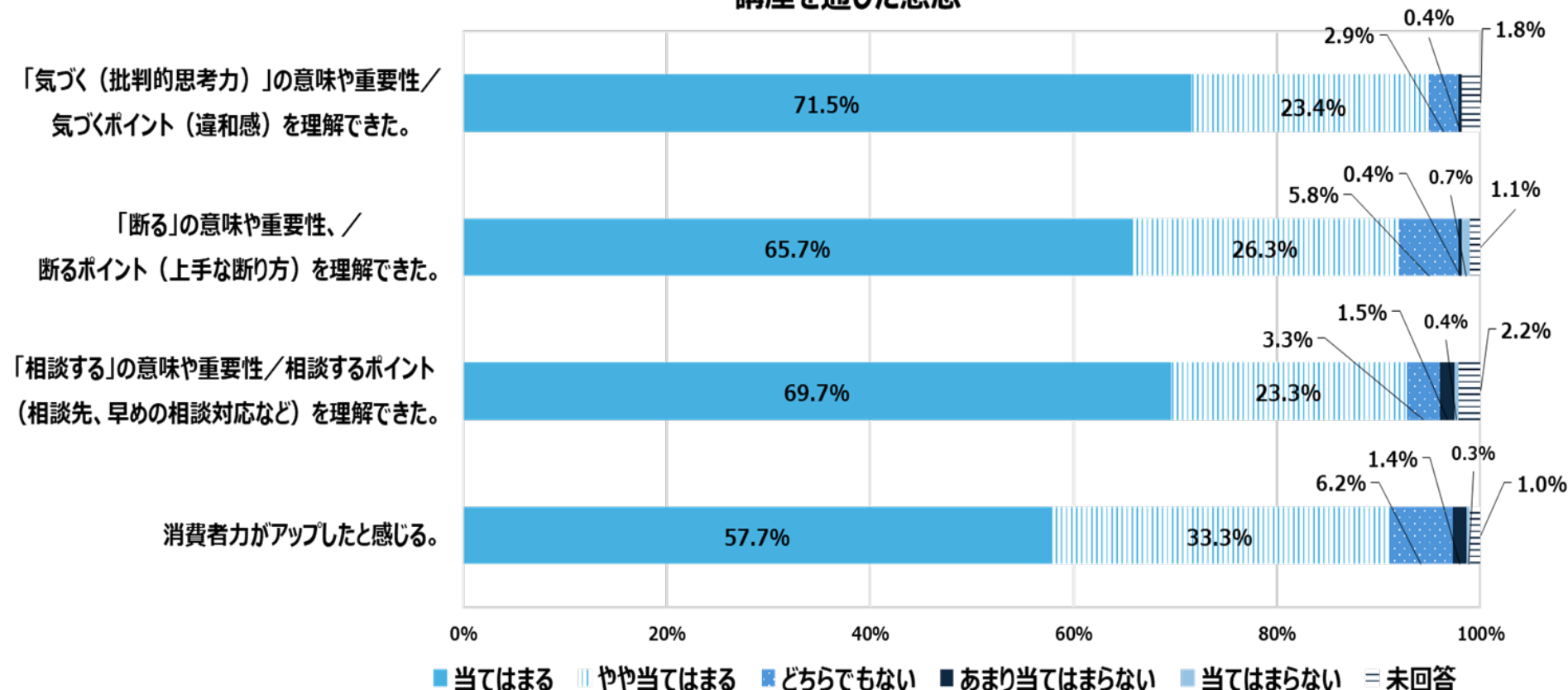
○消費生活相談員/消費生活アドバイザー

- ・消費生活センターでの出前講座の他に、所属する消費者団体メンバーによる消費者啓発などにも活用して、消費者被害防止の一助としたい。
- ・小規模のところに
出前講座を実施し、講座に出て来ないような方を対象に回数を増やしていきたい。交通安全教室等も実施しているので抱き合わせで出前講座等を計画したい。
- ・大学での講座依頼があるので動画を(VRではなく) VTRとして流す予定。

モデル講座受講者の感想（講座を通じた理解度）

講座受講者に対し行ったアンケート調査では、講座を通じた感想として「気づく」「断る」「相談する」の意味や重要性／ポイントを理解できた、「消費者力がアップしたと感じる」の設問で、「当てはまる」「やや当てはまる」と回答した人の割合は9割以上となっている。

講座を通じた感想

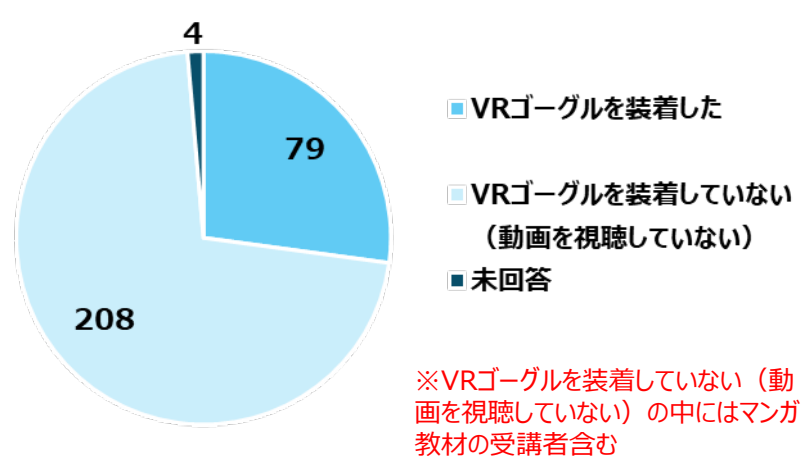


※アンケート回答者数291名。モデル講座以外で実施した講座受講者77名を含む。

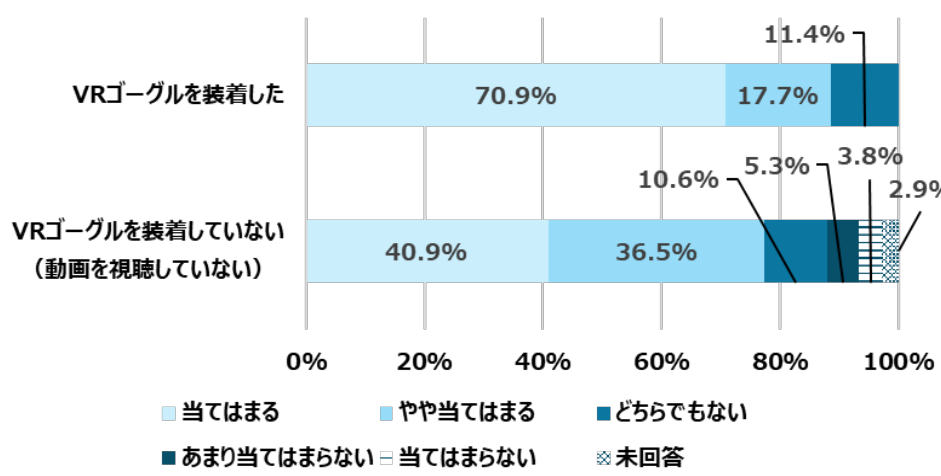
モデル講座受講者の感想（VRゴーグル装着の違い）

受講者のうちVRゴーグルを装着して動画を視聴した人とVRゴーグルを装着していない人では、VRゴーグルを装着した人の方が「消費者被害の状況をリアルに感じた」「自分事として捉えられた」「記憶に残りやすい」の設問に7割以上の方が「当てはまる」と回答しており、VRゴーグルを装着していない人の回答が4割程度なのに比べ3割程度高くなっている。

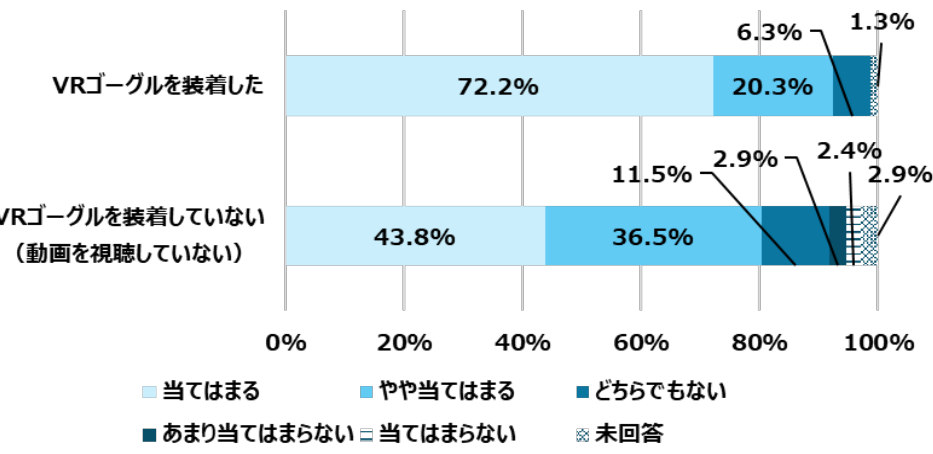
VRゴーグルを装着して動画を視聴しましたか



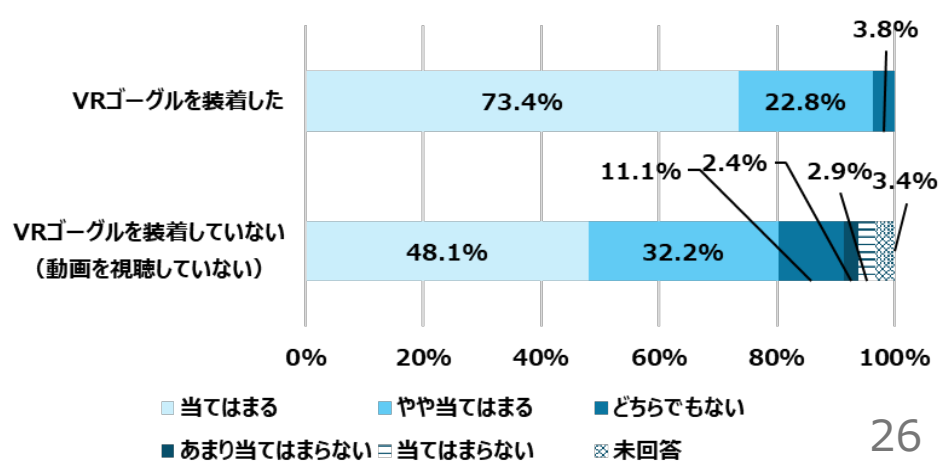
自分事として捉えられた



消費者被害の状況をリアルに感じた



記憶に残りやすい



モデル講座受講者の感想

受講者アンケート「Q.講座を通して、今後どのような実践(注意、情報の収集、声掛け等)が必要だ
と思いましたか。また、消費者被害に遭遇した際、どのように行動しようと思いますか」に対する回答

気づく力・断る力・相談する力

- ・どのようなトラブルがあるのかを知らないと気づくこともできないと思うので、もっと消費者トラブルについて調べたいと思った。(10代・学生)
- ・怪しいと思ったら話をそらしてみたり、すぐに賛同せずに一度持ち帰って誰かに相談して判断しようと思った。(10代・学生)
- ・遭遇した場合、考えさせる余地が与えられない状況がほとんどだと思いますので、まずはキッパリ断る。(20代・学生)
- ・いつでもありえる話なので、まず初めの気づく力を身につけて、賢い消費者になりたい。(50代・専業主婦/夫婦)

働きかける力

- ・子どものインターネットやゲームへの関わりは、放っていたら歯止めがきかないので、常日頃からこまめな声かけが必要だと思った。(40代・PTA(保護者))
- ・身近な人の気づきが大切だと感じ、その為には年齢問わず注意喚起が必要と感じた。
高齢者がトラブルに遭遇している場合は、まずは話を聞くところからはじめ、その人が行動しやすいよう働きかけていきたいと思いました。(40代・福祉関係者)

教材実践ガイドについて

1. 実践ガイド作成の目的・狙い
2. 体験型教材の紹介・教材一覧
3. 教材活用セミナーから教材活用方法
4. モデル講座実施事例12例
5. 受講者アンケート及び講師ヒアリング調査の結果・分析
など

令和7年4月頃公表予定！